

(記載例)

～ 記載のポイント ～

令和8年度未来につながる持続可能な農業推進コンクールにおいては、公募要領の別紙に掲げる「審査項目」及び「審査基準」に基づき、審査を行います。

応募用紙、推薦調書の記載に当たっては、これらの「審査項目」及び「審査基準」を参考としてご記載いただくようお願いいたします。

なお、「審査基準」については、あくまで一例となりますので、全ての取組について網羅的にご記載いただく必要はなく、また記載例にない取組についてもご記載いただけます。

令和8年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール応募用紙

応募者情報

応募区分	GAP 部門			
	団体の部			
ふりがな	〇〇のうぎょうきょうどうくみあい	ふりがな	〇〇 〇〇	代表者年齢
氏名 (団体名称)	〇〇農業協同組合	代表者氏名 (団体の場合記入)	組合長 〇〇 〇〇	〇〇
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇	連絡先	電話: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
	〇〇県〇〇市〇〇 〇-〇〇-〇		メール: 〇〇〇〇〇@〇〇.co.jp	
			事務担当者氏名: 〇〇 〇〇	

<取組内容>

応募タイトル	GAP の取組を通じた生産工程の改善及び地域での普及活動						
品目	トマト、ミニトマト	※3 経営面積	〇〇	ha	※3 構成員 の人数	〇〇	人
取得中の GAP 認証及び 認証種別	※3 <input type="checkbox"/> GLOBALG.A.P. <input type="checkbox"/> ASIAGAP <input checked="" type="checkbox"/> JGAP <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 個別認証 <input checked="" type="checkbox"/> 団体認証	※3 認証取得 した品目 (すべて記載)	トマト ミニトマト		※3 認証取得 時期 (年月)	〇〇年〇月	

取組開始年、きっかけ、これまでの経緯

GAP に取り組むきっかけは、部会の課題として、〇〇の収量・品質安定や高齢化対策、新規担い手の確保、部会の活性化などが挙げられ、GAP の取組はこれらの課題を解決するツールになるのではないかと考えたことによる。このため、組織管理や安全衛生管理のマニュアル化を検討していく中で、GAP の仕組みを活用することが提案されたため、安定的な経営力向上と販売先の確保に向け、〇〇年からGAP に取り組みはじめた。取組開始から現在まで認証を更新しつづけている。

取組内容

① 生産工程管理の改善に向けた継続的な取組

GAP の取組を通じて IPM(総合的病害虫管理)の考え方を導入し、農薬使用量を単位面積当たり〇% (または〇割程度)削減。

また、構成経営体の食品安全、環境安全、労働安全などに関する改善事例やリスクを共有する会議、現地検討会を定期的実施し、他の構成経営体の優れた改善策の導入やリスク認識の個人差を確認することで、GAP の取組水準の向上につながっている。

この取組により、〇〇〇〇を達成し、〇〇〇〇等に役立っている。

(※必要に応じて取組内容について分かるような資料や写真等を添付)

② 生産効率性の向上に向けた取組とその効果

栽培記録の徹底により、構成経営体別の栽培管理と収量の正確な把握ができるようになり、〇〇によるデータに基づく的確な栽培指導が行える体制が構築され、品質が向上している。

機械作業について、作業仕様書を作成し、①作業基準、②作業手順、③安全事項を明記、生産効率の向上を図っている。特にトラクター作業では、作業速度、回転数、ほ場内の作業方法等のマニュアルを作成し、燃油使用量を〇% (または〇割程度)、労働時間を〇% (または〇割程度)削減している。

この取組により、〇〇〇〇を達成し、〇〇〇〇等に役立っている。

(※必要に応じて取組内容について分かるような資料や写真等を添付)

③経営の改善に向けた取組とその効果

GAP の取組を行うことにより、各構成経営体において、経営者と従業員とのコミュニケーションが円滑になったとの声が多く寄せられた。団体において、画一的な作業マニュアルが整備されることにより、作業に関するコミュニケーションだけでなく、労働環境についても課題が共有され、随時、改善が行われている。

JGAP の団体認証を取得した結果、認証品の安定出荷や品質面の均一化されたことなどが評価され、大手飲食チェーン店との取引が始まり、産地全体の取引数量が〇%増加した。来年度には、JGAP 認証を取得する生産者を増やし、前年比〇%増の取引数量を目指す。

(※必要に応じて取組内容について分かるような資料や写真等を添付)

④地域の内外への波及に向けた取組

地域での GAP 普及に向けて、〇〇県と連携し、GAP 認証取得を希望する者への取得に必要な書類作成の支援や研修会講師として指導を行っており、県内での GAP の取組の普及拡大に向けて活動を行っている。

また、近くの〇〇農業高校において、GAP に関する出前授業の実施やほ場に学生を招いて現地研修等を実施し、将来、GAP に取り組む農業者の育成も行っている。

(※必要に応じて取組内容について分かるような資料や写真等を添付)

(記載例)

直近の経営状況

〇〇年の GAP 認証取得後、作業の効率化により、産地全体で栽培面積を拡大し、10aあたり収量も向上。出荷量及び販売額についても、着実に増加している。

〇トマト

	〇〇年 (GAP 認証前)	〇〇年 (GAP 認証取得年)	〇〇年 (GAP 認証取得後〇年)
栽培面積	〇〇a	〇〇a	〇〇a
10a 当たり収量	〇〇kg	〇〇kg	〇〇kg
出荷量	〇〇kg	〇〇kg	〇〇kg
販売額	〇〇千円	〇〇千円	〇〇千円

〇ミニトマト

	〇〇年 (GAP 認証前)	〇〇年 (GAP 認証取得年)	〇〇年 (GAP 認証取得後〇年)
栽培面積	〇〇a	〇〇a	〇〇a
10a 当たり収量	〇〇kg	〇〇kg	〇〇kg
出荷量	〇〇kg	〇〇kg	〇〇kg
販売額	〇〇千円	〇〇千円	〇〇千円

今後の活動方針、その他アピールしたい事項

引き続き、GAP に取り組み、作業の効率化や従業員教育、経営改善等に力を入れ、栽培面積の拡大に努めていく。また、GAP を普及拡大していくためには、実需者、消費者の理解が不可欠であると考えている。実需者向けの説明は行っているが、消費者への理解が進んでいないと感じる。今後は、地元の消費者向けの農業体験会の場において GAP の周知に取り組んでいきたい。

(※その他、アピール事項等について該当あれば記載)

- ※1 農業生産に関する取組の場合、「個別経営の部」、「団体の部」、「人材育成の部」のいずれかを選択して下さい。
なお、農業者、法人等は「個別経営の部」、市町村、農業協同組合、協議会等は「団体の部」、農業教育機関等は「人材育成の部」を選択してください。
また、流通・加工・販売・消費に関する取組の場合、「実需の部」を選択してください。
- ※2 「個別経営の部」、「団体の部」、「人材育成の部」の方のみ記載してください。
- ※3 本応募用紙の他、各取組に関する既存資料や写真、パンフレット、新聞記事等活動内容を補足する資料を添付いただけます。なお、添付資料については、枚数制限等ございませんが、ページ数の多い資料を添付する場合は、該当ページのみを抜粋する等、審査の円滑化のため、できるだけ枚数を絞っていただきますようお願いいたします。

(記載例)

令和8年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール推薦調書

【推薦事例（GAP 部門 団体の部 生産）】

推薦事例団体名及び代表者名	〇〇農業協同組合 組合長 〇〇 〇〇
応募タイトル	GAP の取組を通じた生産工程の改善及び地域での普及活動
推薦調書作成者氏名及び連絡先	〇〇 〇〇(作成者氏名) 〇〇(作成者所属) 電話： メール：

推薦理由	<p>〇〇農業協同組合では、〇〇年から GAP に取り組みはじめ、〇〇年にトマトが認証されて以降、継続して認証を受けながら生産工程管理の実践を行っており、GAP を通じた持続可能な農業の推進に向け取組を続けている。</p> <p>農業者の自主的で継続可能な体制づくりにより GAP の拡大を図っている〇〇農業協同組合の取組は、農業経営の改善と持続可能施の確保に関する優良事例に値するものとして、未来につながる持続可能な農業推進コンクールの GAP 部門、団体の部に推薦する。</p>
------	---

【各部に共通する審査項目】

審査項目	取組の特徴等
生産工程管理の改善に向けた継続的な取組	<p>構成経営体では、GAP の取組を通じて IPM(総合的病害虫管理)の考え方を導入し、GAP に取り組む前に比較して、農薬使用量を単位面積当たり〇%(または〇割程度)削減している。</p> <p>各構成経営体の食品安全、環境安全、労働安全などに関する改善事例やリスクを共有する会議、現地検討会を定期的実施し、他農場の優れた改善の導入やリスク認識の個人差を確認することで、GAP の取組水準の向上につなげている。</p>
生産効率性の向上に向けた取組とその効果	<p>栽培記録の徹底により、構成経営体の別の栽培管理と収量の正確な把握ができるようになり、〇〇によるデータに基づく的確な栽培指導が行える体制が構築され、品質が向上している。</p>
経営の改善に向けた取組とその効果	<p>JGAP の団体認証を取得したことにより、経営者と従業員との間で円滑なコミュニケーションが行われ、画一的な作業マニュアルを整備したことで、作業だけではなく、労働環境についても課題が共有され、随時、改善が行われている。</p> <p>また、JGAP の団体認証を取得した結果、認証品の安定出荷や品質面の均一化されたこと等により、大手飲食チェーン店との取引が始まり、産地全体の取引数量が〇%増加している。</p>
地域の内外への波及に向けた取組	<p>地域での GAP 普及に向けて、〇〇県と連携し、GAP 認証取得を希望する者への取得に必要な書類作成の支援や研修会講師として指導を行っており、県内での GAP の取組の普及拡大に貢献している。</p>